



株式会社ケアサービス

2022年3月期決算説明会

2022年5月20日

イベント概要

[企業名]	株式会社ケアサービス		
[企業 ID]	2425		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2022 年 3 月期決算説明会		
[決算期]	2021 年度 通期		
[日程]	2022 年 5 月 20 日		
[ページ数]	28		
[時間]	11:00 – 11:29 (合計：29 分、登壇：21 分、質疑応答：8 分)		
[開催場所]	103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 2-6-1 日経茅場町別館 地下 1 階 第 1 セミナールーム (日本証券アナリスト協会主催)		
[会場面積]	238 m ²		
[出席人数]	20 名		
[登壇者]	3 名		
	代表取締役社長	福原 俊晴 (以下、福原)	
	常務取締役 常務執行役員	富澤 政信 (以下、富澤)	

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



取締役 執行役員

三浦 裕二（以下、三浦）

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



質疑応答

司会 [M]：ご説明ありがとうございました。それでは質疑応答に入ります。ご質問のある方は挙手していただき、係の者がマイクを持ってまいります。

なお、この IR、会社説明会は、質疑応答部分も含め、全文を書き起こして公開する予定です。したがって、質問の際、会社名、氏名を名乗られた場合はそのまま公開されます。もし、匿名を希望される場合は、質問する際、氏名を名乗らないようにしてください。それでは、質問よろしくお願いたします。

質問者 [Q]：すいません。4 点おうかがいしたいのですが、順番にお伺いします。

一つ目は、御社のエンゼルケアサービスというのは結構、歴史もあって、非常にサービスの評価も高いということで、収益性が高いっていうのは、おそらく業界の中でも皆さん知ってらっしゃると思うんです。それでもあまり、御社に対抗してやってこようというところはないのかどうかとか、だとするとなぜ、この参入障壁が高い部分はどういうところにあるのかをおうかがいしたいのが、1 点目でございます。

福原 [A]：一つずつお答えしますか。今のエンゼルケアの当社の強みと参入障壁ですかね、そちらにつきましては担当役員の富澤からお答えいたします。

富澤 [A]：それでは私、富澤から答えさせていただきます。

参入障壁が高いと思われがちなのですが、実は参入してくる小さな中小企業さんは、たくさんございます。ただし、小さな中小企業さんなので、もちろん体力面で、人を確保できないですとか、サービス品質が伴っていないというような評価を下されて、だんだん淘汰されていくというのが、現状になっております。

弊社の強みとしては、常に品質を上げるために、研修も、さまざまなプログラムを組んでやっておりますので、今日より明日、明日より明後日という形で日々成長を進めてまいります。

質問者 [Q]：分かりました。すいません。

2 点目は、今後の中長期的に、シニア向けの総合サービスということで、この中には、例えば直近で結構ニーズが高い、例えばホスピスのサービスみたいなものは入ってくるのでしょうか。あるいは

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



は、ここは何らかの理由があって事業としては関わらないとか、その辺差し支えない範囲で教えていただければと思います。

福原 [A]：そういったサービスも、選択肢に入るか入らないかでいうと、入ります。ただし、現在の弊社の方向性でいうと、その既存の顧客基盤、商圈等でシナジーがあるものから始めたいと思っています。というのが、まずお答えになります。

質問者 [Q]：はい。3点目が、向こう10年間という時間軸の中で、3年から5年後に、もう一回海外展開を再開とあるのですが、これは中国の国内を、さらにドミナント化をしていくイメージなのか、あるいは東南アジアとか他の地域を想定されているのか、このあたりはいかがでしょうか。

福原 [A]：そのご質問でいくと、両方あると思っています。

当然、まず、マーケットの潜在価値というのがあって、あとは、たぶんご心配されているだろう、地政学リスクというのが両方あります。その中で、先ほどのスライドの中でも申し上げましたが、だんだん、アジアの大都市、現在で言うと、われわれは、上海に出ているわけですがけれども、東京と全く状況が似ているのですよね、中に入って見えるのが。でいくと、それは、これから特に、東南アジアの経済成長している国々も全く同様な状況を迎えるだろうと思っています。

ですので、ご質問の回答で申し上げますと、中国も上海だけでとどまるかということ、当然、選択としては考えているし、他の国々への進出も十分あり得るだろうと考えています。

質問者 [Q]：分かりました。最後、4点目は、本日のご説明の中で19ページ目ですね。この、居宅の介護支援サービスを中心に、訪問介護とかデイサービス含めて集中出店とありまして、さっき福原社長から、亀戸モデルというコメントがありましたが、この今後、亀戸モデルみたいなものが、おそらくこれは、ある程度継続して展開されていくのだと思うのですが、この出店の範囲って、だいたいどれぐらいまでの範囲を考えてらっしゃるのでしょうか。

福原 [A]：そちらにつきましては、担当役員の三浦からお答えいたします。

三浦 [A]：ご質問ありがとうございます。

ドミナント出店して、シナジー効果を広げていくというところの、エリアという考え方なのですが、現在当社が既存事業として展開しているのが東京23区を中心に、そのただ23区だけに限るというわけではなくて、人口密度と、家賃の相場、高齢者の人口というところのマップ推移ですね、こちらを分析して出店をしていくという考えでございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



ですので、現在のところだけでとどまるという考えではなく、その時ちゃんと情報収集をして、ニーズがあるところに出店をしていくという考えでございます。

質問者 [M]：分かりました。ありがとうございます。

司会[M]：他にご質問ありますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、質問も終わりましたようなので、これもちまして、決算説明会を終了いたします。

本日は会社の皆様、どうもありがとうございました。

ご出席の皆様、どうもありがとうございました。お忘れ物のなきよう、気をつけてお帰りください。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行わないものとします。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com